



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その78

島根県大田市にある「仁摩サンドミュージアム」で、1991年に高松伸の設計で完成しました、当地の琴が浜の「鳴り砂」にちなみ、一番大きなピラミッドの中には巨大な一年砂時計が設置され、1トンの砂が、一年を掛けて落ち続けており、ギネスにも登録されているそうです。別館の「ふれあい交流館」も同氏の設計で、流れ落ちる水に包まれた佳作です。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局の新築計画 その2

内部のデザインでは、待合空間の天井を高く取り、患者さんの居心地に配慮するとともに、以前の店舗での問題点を解決するよう、レイアウトを熟考しました。また、照明をスポットライトに限定し、メリハリのある空間を意図しました。その上で、各所に「遊び心」を点在させ、訪れる近隣の方々に親近感を持って頂ける「地域密着薬局」を目指しています。

PRIVATE TOPICS



岡島の経営哲(明)学…「研究」の大切さの再認識

世の中、コロナ禍で営業活動がままなりません。企業は、空いた時間の使い方を模索しています。その時間を利用し、製品スペック、営業戦術など「研究会議」が流行っています。元々「研究」はとても大切ですが、コロナの3年間で、規模の大小を問わず急速に業績を上げている会社が出ています。それらは例外なくユニークな「研究」をしている企業です。

EDITIONAL NOTE

1月の第二月曜日は「成人の日」です。1948年に制定され、1999年まで15日に固定されていました。これは、昔の「元服の儀」から決まりました。昨年からは成人年齢が18歳になり、「成人の日」の催しを何歳で行うのか曖昧ですが、政府は、各自治体に任せるとのお達しで、さらに混乱しているようです。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島